

第24回報農会シンポジウム

『植物保護ハイビジョン——2009』のご案内

——食料自給力の向上と植物防疫——

趣 旨：我が国の食料自給力の向上をめざすための一つの方策として、水田を十分に活用したコメを中心とする生産の安定と効率化を進めることが不可欠である。そのため、今後の技術開発の方向と水田を活用した安定かつ効率的なイネ・大豆の栽培上の現状と課題について話題提供を受けて討議し、植物防疫の果たす役割を展望する。

主 催：財団法人 報 農 会

日 時：平成21年9月25日(金) 10:00~17:00

場 所：「北とぴあ」つつじホール(東京都北区王子1-11-1)

TEL 03-5390-1100(会場への連絡は出来ません)

JR京浜東北線・地下鉄南北線：王子駅下車、徒歩2分(下図参照)

開 会：10:00~10:10 挨拶 理事長 上路 雅 子

講 演：10:10~11:00 飼料用イネの生産の現状と課題
—多湿水田地帯における受託組織による飼料用イネ生産・酪農利用システム—
茨城県農業総合センター農業研究所 弓 野 功

11:00~12:00 水田活用による大豆生産の現状と課題
—集落営農の育成と課題— 福井県福井農林総合事務所 駒 野 雅 保
—片山町農事組合の営農活動の実践— 福井県片山農事組合 戸 田 久 和

13:15~14:05 水稻の高品質安定生産をめぐる
—イネカメムシ類の総合防除技術の開発—
(株)農業・食品産業技術総合研究機構中央農業総合研究センター 渡 邊 朋 也

14:05~14:55 —マルチラインといもち病流行への対応(いもち病菌レース変動予測技術を中心に)—
(株)農業・食品産業技術総合研究機構中央農業総合研究センター(北陸) 芦 澤 武 人

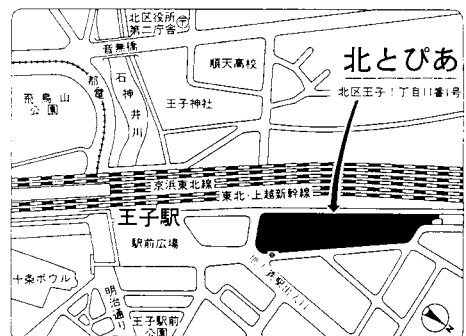
14:55~15:45 食料自給率向上をめざす農業分野の研究開発の現状と今後の展望
—飼料用米・米粉用米の開発を中心に—
農林水産省農林水産技術会議事務局 尾 関 秀 樹

16:00~16:45 総合討論

参加費：一般 2,000 円 学生 1,000 円

申込み：参加をご希望の方は下記連絡先までEメールまたはFAXで所属・連絡先と氏名をお知らせ下さい。当日、参加費と引き替えにテキストをお渡し致します。

連絡先：財団法人 報 農 会
事務局 正垣 優, 渡辺 敦子
〒187-0011 東京都小平市鈴木町2-772
植物防疫資料館内
TEL/FAX 042-381-5455
E-mail: khono511@car.ocn.ne.jp



功績者表彰式のお知らせ

シンポジウム終了後、会場を16階に移して、植物防疫の発展に寄与された功績者の表彰式及び祝賀会を開催いたします。シンポジウム参加者は、無料で出席ができます。

お時間の許す方は、是非ご出席の上、祝福を賜りたくご案内申し上げます。

開催日時 平成21年9月25日(金) 17:00～

開催場所 「北とびあ」16階(天覧の間)

第24回功労賞受賞者(3名:五十音順)

小 島 秀治郎(こじま ひでじろう)

職 歴 滋賀県農業試験場, 同県農産普及課, (社)滋賀県植物防疫協会

業 績 ○米質向上・水稲多収阻害要因(病虫部門)の解析的研究
○省力防除法の実用的比較・検討
○大区画水田での空中散布法による雑草・ニカメイチュウ同時防除効果の検討

関 口 義 兼(せきぐち よしかね)

職 歴 中国農業試験場, 農薬検査所, (社)日本植物防疫協会

業 績 ○いもち病の発生生態および防除に関する研究
○非水銀のいもち病防除薬剤の効果・薬害の解明に関する研究
○農薬の効果・薬害試験および登録関連業務の推進

安 田 弘 之(やすだ ひろゆき)

職 歴 岐阜県農業試験場, 同県病害虫防除所, 同県中山間地農業試験場

業 績 ○ダイコン萎黄病の発生調査と総合防除法の確立
○柿炭疽病の発生生態の解明と発生予察法の確立
○ミスト機利用による農薬の高濃度少量散布法の検討